

平成30年(2018年)12月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書(4日目)

平成30年12月14日(金)

※1人当たり15分間(答弁を除く)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	中村圭介 (無所属の会)	1 労働行政について	「仕事休もっ化計画」の概要と、計画に対する本市の取り組みを問う
		2 人権教育について	(1) 平成28年6月定例会以降の子どもの権利条例についての調査研究の状況を問う (2) 学校で体系的に子どもの権利について学ぶ機会はあるか問う (3) 第2次那覇市教育振興基本計画における人権教育の取り組みの内容を問う (4) 子どもの「休む権利」について見解を問う
		3 衛生行政について	(1) ハブとの共生について見解を問う (2) うどうん山公園はじめ、市内のハブの捕獲と咬傷事故の状況について問う (3) ハブの生息地について県と共同で調査をし、良好な住環境、観光環境の保持に努める必要があると考える。見解を問う
		4 市立病院について	(1) ロビーなどを活用したコンサートの実績と評価を問う (2) ホスピタルアートの活用について見解を問う
			<b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 平成30年12月14日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	糸数 昌洋 (公明党)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	公園行政について	(1) 市内公園の数と面積及び維持管理費の推移を問う  (2) 維持管理費で行う業務内容について問う  (3) 「民間活力を活かした公園活性化事業」の検討状況について問う  (4) 市長公約「公園 PFI を活用した民間活力による整備」の内容を問う
			<b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長

一般質問（4日目） 平成30年12月14日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>吉嶺 努 (自民党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 市長公約について</p>	<p>市長公約について伺う 城間幹子市長の公式サイト内には「10の約束」として政策が掲げられている その中に、「事業者の雇用者スキルアップ研修事業等への助成制度を創設します。また、ワークライフバランスなど、働く人の環境を整え、若者の起業・創業支援、中小企業の実態把握とニーズ分析による支援事業を展開します。」という公約がある</p> <p>(1) 飲食店で働く従業員の外国人への接客のための英語教室、学童を含めた保育や幼児教育を担う方々への救急法普及、中小企業の災害時事業継続計画や避難計画の策定援助などにも使えるような幅広い助成制度となるよう提案するが、事業者の雇用者スキルアップ研修等への助成制度とはどのようなものが、いつから開始になる予定か伺う</p> <p>(2) 平成30年2月にも質問したが、当時専属産業医の選任義務さえ果たしていなかった那覇市役所では、ワークライフバランスなど働く人の環境を整えるための産業保健体制は改善されたのか また、消防局は人員不足で、消防職員の過重労働対策は急務だと考える。消防職員に特化して産業医を雇用している市町村もあり、那覇市も是非検討してはどうか、見解を伺う</p> <p>(3) 若者の起業・創業支援はどのようなものが、いつから開始になる予定か</p> <p>(4) 中小企業の実態把握とニーズ分析による支援事業はどのようなものが、いつから展開される予定か</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		2 障がい者支援について	<p>クリーン推進課が行なっているアシスト収集について伺う</p> <p>アシスト収集とは、10年ぐらい前からクリーン推進課が実施している、ゴミを戸外に出すことが困難な市民に対して玄関まで取りに行く市民サービスである。これについて、クリーン推進課の皆さんには個別回収に加えて、更に手間がかかることであるが、高齢者の安否確認になっていることに、感謝申し上げたい</p> <p>(1) 現在那覇市内でこのサービスを受けている方はどれくらいおられるか。このサービスがあることを、ご高齢の方や障がい当事者、またはそのご家族にお伝えする方法はどのようなになっているか。手続き等も含め、どのようにこのサービスが提供されているのか、教えていただきたい</p> <p>(2) 災害対策の中で、障がいがある方の情報を把握するのが難しいということが言われているが、このアシスト収集を行なっている方々の情報というのは、災害弱者がどこにいるのか、という情報そのものであるとも考えられるが、この情報を災害対策として、地域と共有する仕組みづくりをすることについて、市長の見解を伺う</p>
		3 防災行政に関すること	<p>(1) 防災士の活用について</p> <p>2018年9月5日の産経新聞に報道されたことだが、岩手県議会の県議46人が震災時の経験をもとに、防災士取得を目指し、防災施策に生かしたいという記事があった。翻って那覇市では、防災士養成講座が開催された。これにより、那覇市の防災士は増加したと考えるが、何人になったのか。今回誕生したものも含め、防災士有資格者に現時点までに那覇市はどのようなアプローチを行い、那覇市の防災行政を充実させようとしているのか、今後も防災士の養成に継続的に取り組むのか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>防災に取り組む一つとして、防災士を養成する取り組みは素晴らしいと思うが、最も大事なことは、那覇市が今後、防災士にどのような活動を期待し、民間活力としての防災士とともに、どのような防災施策を行うのか、ということではないだろうか。市長の見解を伺う</p> <p>(2) 那覇市地域防災計画改定について          昨年の12月、那覇市地域防災計画に、車中泊避難についての規定がないことを指摘し、前向きな回答をいただいたが、その後どうなったか</p> <p>(3) 災害弱者対策について          那覇市防災対策検討女性チームが4年ぶりに設置されたとの報に接し、議会で繰り返し災害弱者である女性による会議の開催を訴えてきたことが実現し、大変嬉しく思う。今後、こども防災会議、聴覚障がいや肢体不自由等の障がい当事者による防災会議へと発展して欲しいと考えているが、市長の見解を伺う</p> <p>(4) 避難所運営について          台風24号25号の際の、避難所運営について伺う。今回の台風では、那覇市内でもかなり広範囲に停電が続いた。多くのご家庭がエアコンも使えない。トイレも流せないという状況になっていた。この時、避難場所として、解放した公共施設はあるか、また正式に避難所として開設した場所はあるのか、広範囲の数日にわたる停電に対して、市が取り組んだこと、実際の避難所運営を通して、課題を見つけ、改善しておけば、本当に大きな災害時には力を発揮すると考えるが、市長の見解を伺う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b>          市長</p>

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>久高 友弘 (自 民 党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 御茶屋御殿の復元について</p> <p>2 弁之御獄について</p> <p>3 市道崎山 8 号について</p>	<p>(1) 平成 18 年 12 月定例会において「国の責任で御茶屋御殿の早期復元を求める意見書」が全会一致で議決された。あれから 12 年、那覇市が早期復元のためにどのような行動をしたか。伺う</p> <p>(2) 平成 19 年に設置された国、県、市によるワーキンググループの設置目的は何か。伺う</p> <p>(3) 那覇市は平成 28 年度に石垣の現況確認の写真測量を行い、その測量データをもとに図面作成が平成 29 年 1 月 31 日に完了したとのことだが、何のためにこの作業をしたのか。また、この図面は何をするために使用されたのか。伺う</p> <p>県指定史跡「弁ヶ獄」が国指定史跡「弁之御獄」に指定され、あわせて国指定名勝「アマイクヌムイ」に追加指定されるとのことだが、いつ頃までに復元される予定か。また早速、予算化が来年からなされるか。伺う</p> <p>(1) 市道崎山 8 号の拡幅の必要性について質問したところ当局から「道路整備計画を立案するに当たりましては、現況調査、交通量調査、将来の交通量も含め周辺地域の土地利用計画を踏まえる必要があります。御茶屋御殿の計画も周辺土地利用計画の要素として考えることから今後、御茶屋御殿ワーキンググループの議論の状況を見ながら関係部局と調整してまいりたいと考えております。」と答弁していたが、道路拡幅の件でワーキンググループの意見を聞かれたことがあるか。伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) 平成28年度に市道崎山8号の交通量調査と城南小学校の全児童、父兄を対象に通学路に利用している道路や通学路に対する意見についてのアンケート調査を行ったそうだが、その調査結果を伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成30年12月14日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>古堅 茂治 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 玉陵（たまうどうん）の国宝指定について</p> <p>2 子どもの養育支援について</p> <p>3 子ども食堂について</p> <p>4 環境行政について</p>	<p>国の文化審議会は、2018年10月19日、本市の首里城の西側に位置する琉球第二尚王統の王陵で、三代 尚真王により1501年に築造された、陵墓「玉陵」を国宝に指定するよう文部科学相に答申、今年度内に正式に指定される見込みである。戦前の沖縄には建造物だけで首里城正殿など22件の国宝があり、京都府や奈良県に次ぐ規模だったが、沖縄戦ですべて滅失し、沖縄から国宝が消えた。そして、戦後できた文化財保護法のもとでは県内の建造物として初めての国宝指定となる。うちなーんちゅとして誇らしい。琉球王国の文化がしっかり刻まれた建造物が国宝に指定される意義について見解を問う</p> <p>(1) 離婚とひとり親世帯の状況について問う (2) 離婚後の養育費の受給状況について問う</p> <p>(1) 子ども食堂の現況、成果、課題について問う (2) 小中学生の朝食接種状況について問う</p> <p>(1) 本市は、2014年に「第2次那覇市環境基本計画」を策定し、「人・自然・地球にやさしい環境共生都市 なは」をめざし、総合的かつ計画的に施策を推進している。今回の中間地点での同計画の見直し目的について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 米軍新基地建設について	<p>(2) 2014年の第2次那覇市環境基本計画策定の後、世界では、2015年9月に「持続可能な開発目標」(SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択。2015年12月に国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で「パリ協定」を採択。2017年12月に国連環境総会(UNEA3)で「海洋プラスチックごみ及びマイクロプラスチック」に関する決議採択。国内では、2018年4月に第5次環境基本計画の策定。2018年6月に「環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本的な方針」の閣議決定。海岸漂着物処理推進法改正。第4次循環型社会形成推進基本計画の閣議決定などがあった。現在、国連はポーランドでCOP24を開催中で、パリ協定を履行するための作業プログラムを完成させるための論議を行っている。これら国内外の動向を中間見直しでどう反映させるのかについて問う</p> <p>(3) 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与するために、環境や環境問題に対する興味・関心を高め、必要な知識・技術・態度を養うための環境教育・学習の重要性について問う</p> <p>にじてい にじららん 辺野古新基地建設の土砂投入。県知事選で新基地反対を明確に訴えたオール沖縄・玉城デニー氏の圧勝など、幾度も示された沖縄の民意よりも、日本の法律よりも、アメリカを最優先し、米軍のための新基地建設を不法・不当を重ねて問答無用に強行する安倍自公政権の暴挙は言語道断である。沖縄県民に寄り添うと言いながら対立を持ち込み、うちなーんちゅを愚弄する安倍自公政権の強権政治に対する見解について問う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成30年12月14日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>小波津 潮 (なは立志会)</p> <p><b>質問方式</b> 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 市民の所得について</p> <p>2 観光行政について</p> <p>3 本市における犯罪情勢について</p> <p>4 地方再犯防止推進計画について</p>	<p>(1) 本市の一人あたりの所得の推移、評価を伺う</p> <p>(2) 今後における本市の考え方、課題を伺う</p> <p>(1) 観光振興策の現状と当面の重点目標を伺う</p> <p>(2) インバウンド戦略の現状と課題を伺う</p> <p>(3) 観光公害への取り組みについて伺う</p> <p>本市における犯罪、交通事故、違反について以下伺う</p> <p>(1) 犯罪及び交通事故、飲酒運転の取り締まりの動向について伺う</p> <p>(2) 少年犯罪の状況はどのようになっているか伺う</p> <p>(3) 犯罪を行った少年を更生させるためにどのような対応を行っているのか伺う</p> <p>本市としては、どのような体制で取り組みどのようなスケジュールで計画するか伺う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 平成30年12月14日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>栗 國 彰 (自 民 党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 県産三線普及促進について</p> <p>2 観光行政について</p> <p>3 文化行政について</p> <p>4 認知症対策について</p> <p>5 児童虐待について</p> <p>6 学校施設のクーラー設置について</p>	<p>国の産業構造審議会は、沖縄の三線を国の伝統的工芸品指定している。しかし、年間2万挺が販売されているが、県産三線は、その1割、2割と言われている。本市としての県産三線技術者への行政支援、養成について伺う</p> <p>観光施設における外国人観光客との言葉によるコミュニケーション課題を問う</p> <p>琉球国王、尚家関係資料をパレットくもじの中の歴史博物館に展示している。年間の見学者の人数を問う</p> <p>認知症があり、外出等で行方不明者となり、交通事故やその他事故、事件にまきこまれるケースが多くなり得ると聞くが、その対応を問う</p> <p>無抵抗の子どもを殴ったり、火傷を負わせたり、食事を与えなかったり、その他の虐待が年々増加して、児童相談所に寄せられた相談が多いと聞いているが、本市の状況を問う</p> <p>本市の学校体育館で部活、学業行事等で、熱中症による体調不良で病院を受診した件数を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

